

=====
広報担当よりお知らせです。
=====

目次

- 1. 受賞報告 「フラップゲート式陸閘の開発」が「第18回国土技術開発賞優秀賞」を受賞
2. ご報告 マルチビームソナー技術講習会に講師として参加
3. 性能試験報告 水中音響ビデオカメラの性能試験を実施
4. 技術開発 世界共通で活用できる新たな液状化予測判定法を開発
5. ご報告 2016年度 夏の一般公開を開催しました

=====
1. 「フラップゲート式陸閘の開発」が「第18回国土技術開発賞優秀賞」を受賞
港湾空港研究所が日立造船、早稲田大学清宮理教授、京都大学間瀬肇教授、国土交通省四国地方整備局らとともに開発したフラップゲート式陸閘が「第18回国土技術開発賞優秀賞」を受賞し、7月26日に表彰式が行われました。この賞は、建設産業における広範な新技術を対象として、技術開発の効果、汎用性、新規性などの観点から特に優れるものを国土交通大臣が表彰するものです。
フラップゲート式陸閘は、津波による浸水時の浮力を利用して防潮堤開口部を自動閉鎖するもので、高潮対策のため海底に設置する可動式防波堤として確立された基礎技術に関する知見を活用しつつ、陸上設置に伴う様々な課題を克服して実用化されました。徳島県鳴門市の撫養港海岸などで全34門が完成しており、今後も整備が進められる予定となっています。

詳しくは、下記よりご覧ください。↓↓↓
港空研HP : http://www.pari.go.jp/press/2016/0726.html

=====
2. マルチビームソナー技術講習会に講師として参加
7月28日および29日に開催された国土交通省主催による「マルチビームソナー技術講習会」に、港湾空港技術研究所計測・システム研究グループの松本さゆりグループ長および虻川和紀研究官が講師として参加しました。
研究所は、例年、i-Constructionの普及を目的としてマルチビームソナーを幅広く国土交通省の直轄事業へ活用するための技術講習会を支援していますが、特に、近年はマルチビームソナーのデータを直轄工事の出来形検査の基礎データとしての活用が期待されています。
引き続き、国土交通省と連携して、マルチビームソナーの操作技術の習熟を支援していきます。

詳しくは、下記よりご覧ください。↓↓↓
港空研HP : http://www.pari.go.jp/event/seminar/2016/0728-29.html

=====
3. 水中音響ビデオカメラの性能試験を実施
港湾空港技術研究所海洋インフラ技術推進センターの松本さゆり上席研究官らは、7月19日から21日までの3日間にわたり、横浜港内の岸壁を使用して、日立製作所ディフェンスシステム社の協力を得て開発中の音響ビデオカメラの性能試験を実施し、開発目標の解像度を達成することができました。
音響ビデオカメラは、海洋資源開発の中で人間の「目」の役割を果たす重要な技術で、各国は石油資源で得た豊富なオイルマネーを投入して技術開発を急いでいます。今後は、音響映像を3次元でリアルタイムに表示するソフトの開発を進めるとともに、今年度中に初号機を完成させ、来年度から国際市場へ売り込みをすることにしています。

詳しくは、下記よりご覧ください。↓↓↓
港空研HP : http://www.pari.go.jp/event/seminar/2016/0719-21.html

=====

4. 世界共通で活用できる新たな液状化予測判定法を開発

港湾空港技術研究所動土質研究グループの佐々真志グループ長と山崎浩之特別研究主幹は、世界共通で活用できる新たな液状化予測判定法を開発しました。本成果は、8月8日付けで、地盤工学分野の米国学術誌Journal of Geotechnical and Geoenvironmental Engineering¹* にて公表されました。

本論文は同ジャーナルのウェブサイト：

<http://ascelibrary.org/doi/abs/10.1061/%28ASCE%29GT.1943-5606.0001597>

この新たな液状化予測判定法は、従来は困難であった地震動波形の不規則性と継続時間の影響評価及び予測を同時に実現した実用的な手法であり、世界各国で用いられている様々なタイプの液状化予測判定チャートに活用できるように一般化したものです。

東日本大震災や熊本地震のような最近の大規模で継続時間の長い地震動を受けて、より適切で合理的な液状化評価予測に対する社会的要請とその重要性は、国内はもとより国際的に益々高まっており、今回開発した新たな液状化予測判定法は、世界各国で今後幅広く活用されることが期待されます。

詳しくは、下記よりご覧ください。↓↓↓

港空研HP：<http://www.pari.go.jp/press/2016/0808.html>

=====

5. 2016年度 夏の一般公開を開催しました

港湾空港技術研究所と国土交通省国土技術政策総合研究所は7月23日に合同で研究施設を公開する「夏の一般公開」を行いました。当日はさわやかな夏空の下、1,271名の方々に公開実験、体験学習、スタンプラリーなどのイベントを子供から大人まで楽しんで頂きました。これは、昨年818名を大幅に上回り、過去10年間で最高の記録となりました。

今年度は、新しい試みとして、ハッカソン(IT技術者が集結し、スマホのアプリなどを開発するアイデアを出してプログラミングを競う催し)を同時開催し、横須賀市の吉田雄人市長も来場されました。

また、横浜市主催の「うみ博」スタンプラリーの会場の1つでもありました。

ご来場頂いた皆さまに心からお礼を申し上げます。

詳しくは、下記よりご覧ください。↓↓↓

港空研

HP：<http://www.pari.go.jp/event/open/2016/10775657595796e8726527e20160726133458.html>

=====

* 配信案内 *

■PARI Club 通信のバックナンバーは、下記のURLからご覧になれます。

<http://www.pari.go.jp/event/pariclub/>

■PARI Clubでは、新規会員を随時募集しております。

PARIの研究開発に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、

ぜひ“PARI Club”をご紹介下さい。

登録方法は下記のURLからご参照下さい。

<http://www.pari.go.jp/event/pariclub/>

■配信停止の場合は、お手数ですが、件名を「メール停止希望」として送付願います。

=====

編集・発行：国立研究開発法人 海上・港湾・空港技術研究所

管理調整・防災部 企画調整・防災課 広報担当

〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1

TEL:046-844-5040 FAX:046-844-5072

港空研ホームページ >> <http://www.pari.go.jp/>

=====